令和元年度　第３回鹿屋市子ども・子育て会議　会議録（要点筆記）

開催日時	令和元年 10 月４日（金）14：30～16：30	
開催場所	鹿屋市農業研修センター２階大会議室	
委員出欠	出席委員 19 名	森委員、朝野委員、エルメス委員、鮫島委員、立切委員 山口（か）委員、山口（な）委員、西之原委員、柳元委員 福元委員、濱上委員、新川委員、有川委員、清水委員 田木委員、馬場委員、末吉委員、吉永委員
	欠席委員 ７名	寳滿委員、吉﨑委員、岡留委員、軀川委員、宮下委員 内野委員、渡邉委員
事務局及び関係部課出席者	中津川保健福祉部長、枦木子育て支援課長 堀田係長、下假屋係長、堂地係長、下小野田主査 吉永主任主事、森田主任主事 （福祉政策課）藤田係長 （健康増進課）加世田主幹 （学校教育課）畑添係長 （生涯学習課）平山係長	
傍聴者	なし	

【１　開会】
【２　報告】
（１）　令和元年度第２回子ども・子育て会議　会議録の報告

【３　議事】
（１）　第２期鹿屋市子ども・子育て支援事業計画の素案骨子構成内容について

（委員）
人口推計は、どのような方法をとっているか。
また、計画の進行管理はＰＤＣＡサイクルではなく、ＯＯＤＡを採用してはどうか。
〔　人口推計については、平成 27 年度以降の人口の数値等を用いて、今後の人口推移を計算している。また、計画の進行管理については、ＰＤＣＡサイクルを採用している。ＯＯＤＡについては御意見として承ります。〕

（２）　新たな子育て支援施設の運用について

（委員）
トイレの便器数はどうなるか。
〔　都城市の「ぷれぴか」や鹿児島市の「りぼんかん」を参考に検討している。〕

（委員）
隣接する「健康科学教室」は、どのような使い道があるのか。
〔　大型音響施設を有しているため、例えば一日映画会の開催など、様々なイベントの開催を予定している。〕

（委員）
運営体制について、勤務体制が最低常時３人体制となっているが、休日や長期休暇に

おいては利用者の増が見込まれる。３人で十分なのか。また、ボランティアの受入れは行うのか。

〔　施設の安全確保のため、利用者の人数を制限するなど他自治体の子育て施設を参考に職員の配置を検討している。また、ボランティアの受入れについては、市での呼びかけを検討している。〕

（委員）

新たな子育て支援施設は、県の施設内に設置することとなるが、使用料はいくらなのか。

〔　使用料は、年間約 320 万円である。なお、使用料については、子育て支援施設という目的により県から 65％の減免を受けている。〕

（委員）

リナシティかのやを活用しないのはもったいないと思う。

〔　市役所内部でリナシティかのやの活用については、検討しています。〕

（委員）

休憩スペースでは、持参のお弁当を食べることはできないのか。

〔　県民健康プラザの館内は、原則、飲食は禁止されているが、県との協議の中で、新たな子育て広場内では、軽食程度の食事は可能との報告を受けている。今後、県との協議の中で鹿児島市や都城市にある子育て支援施設を参考に改めて検討してまいりたい。〕

（委員）

紙おむつを販売する売店や粉ミルク用のお湯は準備されるのか。

また、新たな子育て広場の周知はどのように行うのか。

〔　アンケートの中でも紙おむつの小売や粉ミルク用のお湯の設備については、多くの意見をいただいているので、今後、設置等について検討してまいりたい。

また、新たな子育て広場の周知は、現在配布しているパパ・ママ・子ども便利帳による施設の案内や子育てアプリの活用など、様々な媒体により情報提供してまいりたい。〕

（委員）

子どもが施設外に出られないようになるのか。

〔　施設出入り口の受付付近にソファーや仕切りを設置するなど外に出られないようにしたいと考えている。〕

（委員）

施設の利用に際して会員登録は行うのか。

〔　初回の利用の際に、利用証の交付を行い、利用証の提示により施設利用を許可したいと考えている。〕

（委員）

利用証の事前受付は行わないのか。

また、９月議会における米永議員及び繁昌議員の一般質問に関して、候補地の選定理由といつまで設置するのかについて、市はどのような答弁をしたのか。

〔　利用証の事前受付・発行については、市の公共施設で行うなど対応を検討してまいりたい。

また、９月議会における答弁について、候補地については、市内にある公共施設を比

較検討していく中で、施設設置までの準備期間や費用等について、県民健康プラザが優位であったことから、今回最有力候補地としたところである。設置期間については、現時点で年限を設けていない。〕

（委員）

保育所等の団体利用の許可については、現在検討を行っているとのことだが、いつ頃になりそうか。

〔　来年の３月議会に設置条例を上程する予定であり、今後、保育所等の団体利用の許可内容について整理する予定である。〕

（委員）

現時点における駐車場の台数の見込みはどうか。また、公共交通機関との接続はどうか。

〔　１日 50～60 台の利用を想定している。以前、駐車場の利用状況について調査した結果、イベント開催時を除いて多い日に 100 台は空いているので、十分駐車できるのはないかと見込んでいる。また公共交通機関との接続については、隣接する鹿屋医療センターの正面玄関にバス停があり、施設までは屋根付きの回廊を通って施設に入ることが可能である。〕

（委員）

市が所有する施設以外を借りて施設を整備するよりは、市が新たに施設を建設したほうがよいのではないか。

〔　新たに施設を建設する場合、約４億円の費用を要すると試算している。現時点においては、新たに施設を建設するのではなく、施設の賃借により施設の整備を行うことで市民の皆様に納得してもらえるよう努力したいと考えている。〕

（委員）

トイレは施設の外に設置するのか。

〔　施設から最も近い場所にトイレを設置する予定である。健康増進センター館内への新設を検討したが、新たにトイレを設置する場所がないこと、また多額の費用を要することから、施設外の設置とすることとしたい。〕

（委員）

トイレの入り口付近に防犯カメラを設置しないのか。また、おむつ交換室や授乳室については、男性が利用しやすくしたほうがよいのではないか。

〔　防犯カメラの設置については、予算の範囲内でできるか検討してまいりたい。
また、おむつ交換室や授乳室を含めた施設全体の整備については、今後、市内の事業者から提案を受けて内容等を決定するため、事業者にお示しする仕様書に「男性が利用しやすい」ということを入れ込んでいきたいと考えている。〕

（委員）

配置する職員について、保育士等の有資格者や経験者を採用するのか。

〔　職員については、現在西原、田崎、東地区学習センターのつどいの広場で勤務されている方々の活用を検討している。この方々は保育士資格や経験を有している。〕

（委員）

利用対象者について、子育て支援に係る活動を行う団体の要件はあるのか。
〔　児童の育成などを行う団体であれば利用可能としたいと考えている。〕

（委員）
団体が利用する場合は、事前に予約することになるのか。
〔　団体の利用方法については、今後調整してまいりたい。〕

（委員）
公共交通機関（バス）の運行状況はどうか。
〔　くるりんバスは、東回り、西回りともに１日３便運航している。また、今後、施設の利用者が増えた場合、所管課である市地域活力推進課と協議検討してまいりたい。〕

（委員）
施設整備の総額はいくらか。内装はどのようにするのか。
〔　施設整備総額は約４千万円を予定している。財源については、企業版ふるさと納税の活用を検討している。内装の整備については、アンケート結果に基づき仕様書を公開し、市内事業者に提案してもらうこととしている。〕

（委員）
現在設置している「つどいの広場」に職員がいなくなるのはさみしい。
〔　出張広場を週１回程度設けるなど対応を検討している。また、つどいの広場自体は引き続き存続させる予定である。〕

【４　その他】
（委員）
保育会の会議の中で、子育て支援課の職員の増員をお願いできないかという意見が出された。
〔　御意見として承ります。〕

（委員）
幼児教育・保育無償化に関する通知が 10 月１日以降に届いた。もう少し早く届けてほしかった。
また、アンケート調査の中で市役所の窓口対応に関する苦情の内容がみられた。改善をお願いする。
〔　子育て支援課内で対応については、フィードバックしていきます。〕

（委員）
預かり保育の料金の均等化はできないか。
〔　預かり保育の料金を市で設定することはできないが、この意見については、幼稚園協会に伝えたいと思う。〕

（委員）
今後、外国人の子どもたちが抱える課題について、関係機関との連携が必要であると思う。
【５　閉会】
※〔　〕は事務局及び関係部課の回答。